



北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北部九州地域の産業発展に貢献する



NPO法人 北九州テクノサポート

〒804-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号
TEL: 093-873-1453 FAX: 093-873-1453
E-Mail: npo-kts@npo-kts.org.jp URL: http://www.npo-kts.org/

Vol.28

平成29年 冬号

新年のご挨拶

NPO法人 北九州テクノサポート 会長 石川 浩



新年明けましておめでとうございます。

昨年は英国のEU離脱をはじめ、米国大統領選での予想を超えた結末等々、国際情勢は大きな動きがあり、TPPをはじめとして日本経済へも今後色々な面で影響が出て来ると思われまます。このような状況の下で中小企業の皆様には、どのように対応して行くかが問われることと思われまます。

NPO法人北九州テクノサポートは中小企業の皆様をはじめ、九州経済産業局、福岡県、北九州市、(公財)北九州産業学術推進機構、北九州商工会議所、(公財)北九州活性化協議会等々多くの関係団体、および大学、高専、等々の皆様のご協力の下、これまで積み上げてきました活動実績をベースとして今年もニーズの掘り起しとその解決のための活動を展開する所存です。

中小企業の皆様にどのようにお役に立つことができるのかを常に考え支援活動を6つの支援Grで企画・展開して参りましたが、企業ニーズの多様化に伴い昨年後半に、我々の支援活動Grの若干の整理・見直しを行い「技術経営ものづくり支援Gr」を立ち上げました。今後は生産性向上や新規事業創出に向けた第4次産業革命IoT導入・活用による支援へ繋いでいきたいと考えており、そのための勉強会を昨年1月から関連機関並びに関心のある企業の方々も含めて実施し6回目を迎えております。今後、更なる研鑽と経験を積み色々な企業の皆様のニーズに対応出来るようにしたいと考えております。

また、(公財)北九州活性化協議会が中心となって推進中の「北九州地域産業人材育成フォーラム」におけるコーディネーターとしての活動も引き続き継続推進致し、今年度は新たに「実践型インターンシップ」の実績づくりを行う予定です。これまでの、技術開発・新製品開発に結び付く産学連携支援、販売促進支援、環境経営や環境技術の開発・導入支援、エコアクション21の普及 etc. は勿論のこと、それらに加えて支援活動範囲を広げ、産業振興とまちづくりへ微力ながら貢献していきたいと考えております。関係諸機関の皆様のご厚情に深く感謝を申し上げますと共に、本年もよろしくお願い申し上げます。

Topics.1 新規事業の紹介

IoTによる第四次産業革命勉強会活動

産学官連携人材育成支援Gr長 影山 隆雄

■スマートものづくりの輪を広げて

経済産業省は、2015年1月、我が国の「第4次産業革命」元年を宣言しました。これに伴って、IoT・クラウド・AI・ロボットを活用して新しいサービス事業の創出や生産性を更に高める動きが活発化しています。

我々も産学官連携人材育成支援Grとして、このような新しい動向を勉強して中小企業支援に活かして行くことが重要と考えて2016年1月に自己研鑽の場として「第4次産業革命」勉強会を立ち上げました。



IoT勉強会

「第4次産業革命」は、技術開発だけでなく関連する法律整備や規制緩和など制度設計にまで及ぶ広範なテーマが含まれていますので、表に示すように隔月開催の勉強会においてIoTの活用事例の分析をはじめセンサー技術や近距離通信方式の選択、セキュリティを中心に勉強しています。

参加メンバーは、NPO法人KTS会員だけでなく行政や産業界からの関心も高く、新しい参加者が増えてスマートものづくりの輪を広げています。

開催日	主なテーマ(講師)
第1回目 2016/1/27	1. 第4次産業革命・IoTの動向九州セミナーの報告(藤崎) 2. 製造業を変える人工知能とIoT出前セミナーの報告(影山)
第2回目 2016/3/24	1. 製造業にIoTを活かす(影山) 2. IoTの活用最前線(影山)
第3回目 2016/5/27	1. IoTを実現する基盤技術(影山) 2. Japan IT Week【春】基調講演の報告(影山)
第4回目 2016/7/28	1. 生産性向上に繋がるセンサ技術(影山) 2. ものづくり白書2016説明会の報告(影山)
第5回目 2016/9/29	1. センシング情報に応じた最適な通信技術の選択(影山) 2. IoT塾 in 福岡の報告(影山) 3. IoT・第4次産業革命研究会(第2回目)の報告(影山)
第6回目 2016/11/28	1. IoTにおけるセキュリティ(野見山) 2. Japan IT Week【秋】基調講演の報告(影山) 3. IoT・第4次産業革命研究会(第3回目)の報告(影山)
第7回目 2017/1/30 (予定)	1. クラウドとAIによるビッグデータ分析技術(PCT 後藤) 2. スマートものづくり応援ツールの紹介(影山)

謹賀新年

平成二十九年 正月 理事・監事一同



会長 石川 浩
 事務局長 小林敏郎
 副会長 重藤将美、藤原利久、山本倅暉
 理事 石井剛、江副綏人、影山隆雄、堤 増美、
 藤崎正昭、藤原成種、松尾民憲、松隈 斉
 吉田 剛
 監事 小野晃一、磯村福義



【平成28年度 理事・監事一同】

新年の挨拶



平成29年 新年の挨拶 北九州市長 北橋 健治
新年あけましておめでとうございます。

昨年北九州市は、国家戦略特区への指定、G7エネルギー大臣会合の開催に加え、年末にはユネスコ無形文化遺産に戸畑祇園大山笠行事が登録され、「有形と無形 2つの世界的遺産のあるまち」になるなど、明るい話題に恵まれた1年でした。

今年も、ものづくり、環境といった本市の強みを伸ばし、地域経済を活性化させるとともに、「暮らしやすさ」という本市のポテンシャルを活かしたまちづくりを進めていきます。

まず、産業振興の面では、介護ロボット等を活用した先進的介護の実証や、地元中小企業の生産性向上支援、響灘での洋上風力発電の拠点化などに取り組み、「ものづくり・環境のまち」の進化を図ります。

また、ウーマンワークカフェやシニア・ハローワーク戸畑、創設する市内就職者への奨学金返済支援制度などを活用し、就業支援を充実します。

次に、全国的に高い評価を受けている子育て・教育分野では、子ども食堂の運営、児童養護施設を退所した子どもへの支援などに取り組み、福祉・医療分野では、昨年開設した認知症支援・介護予防センター等を拠点とした高齢者支援などを推進します。

また、市民一斉防犯パトロールなど安全・安心なまちづくりも進んでおり、このような安全で暮らしやすい都市イメージを、首都圏をはじめ全国へ向けて情報発信していきます。

新春放談 北九州の新年を語る

■株式会社 安川電機 代表取締役社長 小笠原 浩



謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年は、世界中の製造業におけるIndustrie4.0やIoT (Internet of Things)などの実現に向け産業の高度化が進展する中、ロボットやメカトロニクスが注目され、私も安川電機にとっては追い風となりました。さらに、中国では少子化による人手不足や労働賃金の高騰を背景に自動化が急速に進むと同時に、政府の補助金政策も加わり、自動車・スマートフォンを中心に受注が拡大いたしました。

また、環境・エネルギーの分野では自然エネルギーの活用や省エネの推進が世界的な潮流であるばかりか、中国では喫緊の課題として大きく取り上げられています。そのような中で弊社はEV(電気自動車)関連の投資や大型風力発電用ドライブ及び太陽光発電パワーコンディショナーへの取り組みを強化しております。

本年の動きを予測するにあたって、「アメリカのトランプ大統領誕生」「韓国の大統領の進退」「イギリスのEU離脱決定のその後」等、非常に不確定な要素が多くありますが、「中国での積極的な自動化推進と環境問題への対応」「欧州を中心とした積極的なIndustrie4.0への取り組み」「アメリカでのIoTの進化」はこれから確実に進み、日本やアジア各国を巻き込んだ大きな変化が生まれてくると考えられます。

安川電機はこの北九州の地から、積極的に変化に対応する一歩を踏み出し、社会に対し新たな価値を提供してまいりたいと存じます。

最後になりましたが、北九州テクノサポート会員の皆様にとりまして、2017年が飛躍の年になることを心より祈念いたします。

■TOTO株式会社 代表取締役社長執行役員 喜多村 円



新年あけましておめでとうございます。

TOTOは、本年創立100周年を迎えます。

創立100周年事業として開設したTOTOミュージアムは、2015年8月のオープン以来、入場者数は12万人を突破しました。産業観光で北九州を訪れる方も多数ご来館されています。

北九州市には長い歴史をもつものづくり企業が多くあり、その歴史の中で培われたさまざまな技術は大きな強みです。また、北九州市は環境・エネルギー政策を推進しており、昨年5月にはG7エネルギー大臣会合が開催されるなど、環境モデル都市として日本を代表する自治体となっています。

北九州テクノサポート会員企業の皆様も多方面にわたる技術支援で、活力あるまちづくりのためご活躍されているものと存じます。

当社も、節水便器をはじめとした商品の開発、低炭素のものづくりで環境貢献しています。

先人の変わらぬ想い「良品の供給、需要家の満足」を継承しつつ、社会環境の変化を感じ、革新に取り組んでまいります。TOTO商品を選んだお客様から、20年、30年後に「またTOTOにしたい」と思っていただき、世界にTOTOファンを増やしていきます。

会員企業の皆様におかれましては、北九州テクノサポートのネットワークを活かし、更なる成長と飛躍の1年となりますことを祈念いたします。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS通信Vol.28広告1-2



大光炉材は、ユーザーニーズへの迅速・確実なレスポンスをモットーに、独自の技術開発力を武器にダイナミックな展開をしています。

経営理念【社是】

私たちは、国家社会を支える重要な仕事をもつことを誇りとし、きびしい自己反省とたゆまぬ創造開発によって会社の発展と人間幸福の実現に努力します。



大光炉材株式会社

本社：〒804-0054 北九州市戸畑区牧山新町1-1
TEL: 093-871-1631(代) FAX:093-883-2151
<http://www.taiko-ref.com>



当社は、「人生にやさしい」福祉・医療器具の総合メーカーです！

■当社は、障害児・者及び高齢者の必要とする義肢装具サービスの提供します。

代表取締役 有 蘭 央

〒805-8538 北九州市八幡東区東田1-7-5
TEL:(093) 661-1010/FAX:(093) 661-1670

<http://www.arizono.co.jp/>



新春随想



平成29年 新春随想 公益財団法人北九州産業学術推進機構 理事長 松永 守央 新年明けまして、おめでとうございます。

北九州テクノサポート会員の皆様には、日頃から公益財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)の事業に対しご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、FAISは財団設立以来、地域企業の技術開発とその事業化の支援に加え、中小企業支援センターを中心とした経営力強化の支援に取り組んできました。

本年も、大企業との商談会などビジネスマッチングの場の提供、地域企業の優れた製品・技術の開発と販売促進の支援、きめ細かな創業支援など、北九州市のまち・ひと・しごと創生総合戦略の大きな柱である

「北九州市にしごとをつくり、安心して働けるようにする」ための取り組みを強めていきたいと考えています。

FAISは多くのものづくり企業が存在する北九州地域の産業支援機関として、地域企業、特に中小企業と大学との連携を推進する役割を担っていますが、最近ではIoTやAIなど新しいものづくりシステムの活用が急速に進んでおり、こうした動きや産業の新しい姿を踏まえつつ、産学連携をさらに進めていく必要があると考えています。

FAISが目指す産学連携を進めていくためには、豊富な専門知識・技術を活かし、地域中小企業の技術力強化の支援に取り組んでおられる皆様のご協力が必要です。皆様にはさらなるお力添えを賜りますよう、お願ひ申し上げます。

最後になりますが、北九州テクノサポートの会員の皆様にとりまして本年がよき年となりますことを心からお祈り申し上げます。

新春放談 北九州の新年を語る

■公益財団法人北九州活性化協議会 会長 西村 韶道



新年明けましておめでとうございます。

北九州テクノサポートの皆様には、平素より当協議会の運営にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、英国のEU離脱、そして米国ではトランプ大統領が誕生し、グローバル化がもたらす格差が極点に達し、経済が政治を変えてしまうような大きなうねりが生まれています。

我が国においては、アベノミクスも5年目に入り、金融緩和と円安に加え原油安が奏功し、企業の業況判断指数も全産業で好転してきました。

こうした流れの中で、北九州市も、国が進める地方創生戦略を受け「まち・ひと・しごと創生戦略」を中心に、人口減少と若者人口の回復という課題に向けて各種の施策を推進しています。

当協議会も、北九州地域の産学官民の連携軸として「北九州地域産業人材育成フォーラム」を編成し、産学連携による産業人材育成と中堅・中小企業の雇用環境の改善に向けその一翼を担っております。

本事業の推進に当たっては、創設当初より豊富な専門知識と地元企業とのネットワークを保有されている北九州テクノサポートの大きなお力添えを頂き、お陰様で地方創生戦略のモデル事業としての評価を頂くに至っています。工業都市—北九州の確かな未来を創っていくためには、高い志をもって北九州地域における中小企業の技術力強化に取り組まれている北九州テクノサポートの皆様の役割が今後ますます大きくなっていくと思われまます。

今年度も、当協議会との連携をはじめとして、地域活性化の推進に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、北九州テクノサポートの益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

■公益財団法人西日本産業貿易コンベンション協会 専務理事 中溝 明弘



新年明けましておめでとうございます。

(公財)西日本産業貿易コンベンション協会主催の中小企業テクノフェアin九州には毎年多大なご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

当協会は、今年で開館40年目を迎えます。また4月からは、(公社)北九州市観光協会との合併に伴い、「(公財)北九州観光コンベンション協会」として、生まれ変わり、更なる飛躍を目指してまいります。

2017年度は、緩やかな景気回復の動きが続き、実質GDP成長率は前年比+0.9%と3年連続でプラス成長を達成する見込みと言われております。しかしながら、中小企業景況調査でも「国内の消費低迷、販売不振」「為替相場の変動」など不安要素を感じている中小企業も多くあり、下振れリスクに敏感になっていることも伺われます。その中で、「営業・販売力の強化」「人材の確保・育成」などは経営基盤の強化に向けて注力する分野として挙げられていました。私どもとしましては、中小企業の皆様、「中小企業テクノフェアin九州」を活用いただくことで、経営基盤の強化につなげて頂きたいと願っているところでございます。特に、NPO法人北九州テクノサポートの皆様のフェアに対する熱い活動は、これまで出展いただいた中小企業の皆様の北九州地域での販路拡大につながるとともに、その活動を高く評価する声が寄せられており、コーディネーターの皆様と出展企業の皆様の交流によって、人材の成長にも貢献していただいていると実感しております。

今年も、「ものづくりの街北九州」で開催する中小企業テクノフェアin九州で力を合わせて、中小企業の皆様が躍進できる年となるよう2017年もご支援を賜りたく心よりお願ひを申し上げます。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

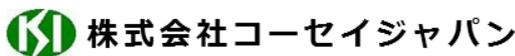
■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS通信Vol.28広告3-4



エコアクション21
認証・登録番号
0008225

限りある資源を未来に 地球環境に貢献



株式会社コーセイジャパン

(新商品) 低コスト高効率LED照明

当社は、高効率LED照明や省エネ安定器等の開発および製造を行い、全国で販売を実施しております。

この際、福岡県工業技術センター機械電子研究所との共同開発で、CAE(熱流体解析、照明解析)を活用し、最適なヒートシンクとリフレクタの設計、温度と照明特性測定、構造の最適化および部品の共通化を図ることで、30%のコストダウンが実現しました。

本開発による事業拡大を目指して、昨年東京営業所を新設(1名新規雇用)、今春に本社新社屋(福岡県刈田町)を建設し、新型LED照明の生産および品質管理の強化を図っております。

http://www.kosei-japan.com

〒800-0315 福岡県京都市都賀町刈田港町8-11

TEL:093-436-6136 FAX:093-436-6141



意匠登録1537579号
実用新案第3197902号



すなわち謙虚に無限の未来をひらいていこう

株式会社 豊洋製作所



水栓金具部品



医療機器部品

水栓金具部品及び医療機器部品の開発・製造にISOマネジメントシステムを適用した仕組みを実践し、環境改善にエコアクション21を運用・活用

◆代表者 取締役社長 小河原 悟
◆本社・工場: 福岡県京都郡刈田町鳥越町1-44
TEL 093-436-5200
FAX 093-436-5207
http://www.hoyo-s.co.jp



新春随想



平成29年の新春随想 福岡県 商工部 中小企業技術振興課長 赤尾 哲之

新年明けましておめでとうございます。みなさまには、健やかに新春をお迎えのことと存じます。

NPO法人北九州テクノサポートにおかれましては、平素から本県産業の振興に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

昨年3月、県では、本県ものづくり企業のみなさまを支援することを目的に「福岡県ものづくり中小企業推進会議」を設立いたしました。この推進会議では、中小企業の皆様が新たな事業を興す種となる「技術開発に対する支援」や、技術開発に伴い創造される「知的財産の保護・活用に対する支援」、新製品の生産等を担う「人材の確保や育成に対する支援」、新製品をより効率よく生産し、経営基盤を安定化するための「生産カイゼン支援」など、企業のニーズに応じ実施し、中小企業の皆様に地域の中核企業として大きく成長していただきたいと考えております。

ものづくり産業は、安定した雇用を生み出すとともに、設備投資の促進やサプライチェーンの集積など、他産業への波及効果が大きく、その成長・発展を支援することは非常に重要です。しかし、本県中小企業を取り巻く環境は、ものづくり人材の不足、国内市場の縮小、グローバル競争の激化など厳しい状況にあります。

県としましては、技術の高度化や新技術・新製品開発、知的財産戦略、ものづくり人材の育成、生産カイゼン運動などの支援施策を積極的に推進し、県内中小企業の多様で活力ある成長発展を図ってまいります。

今年は酉年でございます。今年一年がみなさまにとりまして、大きく羽ばたく一年になりますことを心からお祈り申し上げます。

新春放談 北九州の新年を語る

九州工業大学

学長 尾家 祐二



新年おめでとうございます。

昨年中は、本学の教育研究活動に格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年4月に学長に就任しまして、学術及び社会の進展を認識しつつ、未来を見据えた教育研究活動となるよう心がけて活動いたしております。また、「三木会」等を通じて、地域企業の皆様との交流を継続し、中でも、昨年10月17日には、本学の産学連携研究活動を広く頂くために、「九州工業大学 NEDOシンポジウム～未来を拓く技術開発に向けた産業界との連携～」を開催いたしました。地域企業の皆様にも多数ご参加いただき活発な交流となったかと思っております。誠にありがとうございます。このような取り組みが更なる産学連携の活性化に繋がりましたら幸甚です。

また、昨年は、文部科学省の地域科学技術振興施策「平成28年度地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」に、本学が提案しました「IoTによるアクティブシニア活躍都市基盤開発事業」(自治体:北九州市)が採択されました。提案件数32件の中から本学を含めて4件のみの採択であり、本学の提案は、本学の独自性の高い「非接触生体センサ」と活用実績が豊富な「センシングデータ解析技術」の組合せにより、都市に住む高齢者が「より安全に」「快適に」「やりがいをもって」生活するためのIoTソリューションを実現することを目指しています。この実現のために、関連企業様との連携がより一層重要となってきますので、ご興味をお持ちいただけますと幸いです。

本年も、より開かれた大学を目指し、多様な連携により、さらに魅力ある大学となるように活動致したいと考えております。皆様を結節点とした、地域企業の皆様と本学の連携強化にも期待するところであり、引き続きよろしくお祈り申し上げます。

最後になりましたが、皆様方にとりまして、本年が多くのよい機会に恵まれ、実り豊かな年になりますことをお祈り申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

北九州市立大学

副学長 梶原 昭博



新年おめでとうございます。

昨年は「AI(人工知能)」や「ビッグデータ」、「IoT(モノのインターネット)」が流行語のように新聞や雑誌で散見されました。特にプロ棋士を破ったAIソフトは記憶に新しいと思います。AIの歴史は古く、1950年代に米国を中心に研究開発が始まり、その後2度ほどブームが到来しました。再び脚光を浴びた3度目のAIブームは、ロボットや自動車産業だけでなく、医療や食料・農業など多岐にわたってイノベーションを引き起こすような勢いです。期待感だけで終わったこれまでと異なり、クラウド環境が進化し、インターネットで収集した膨大なデータをAI処理できる計算機環境が整っているように思います。今後、これらの技術が産業構造を変革し、新たなグローバル競争をもたらす、私たちの社会や働き方にも大きな影響を与えるのではないのでしょうか。

さて本学ではこのような変化と競争を勝ち抜くために、2015年10月に環境技術研究所の組織を見直し、研究開発の高度化および社会の要請に応えられるような体制に移行しました。また昨年は本学創立70周年と同時に国際環境工学部創設15周年を迎え、本年3月に環境技術研究所の建屋が建設されます。これを機に、これまでの環境技術や災害対策技術に加えて、低炭素社会に向けたエネルギー関連技術、次世代バイオマテリアル、そしてIoTやロボットによる次世代産業の創出・高度化を推し進め、地域の課題解決に繋がりたいと思います。

また、引き続き地域社会の発展に貢献できる課題解決型高度人材育成を目指しますので皆様のご協力とご支援を宜しくお祈り申し上げます。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS通信Vol.28広告5-6

System & Meteorology

感動を創造する 気象予報会社です。

私たちの仕事は、地球と真正面から向き合う仕事。

最新のテクノロジーと豊富な経験が必要。

私たちシステム株式会社は、そのどちらも欠かすことなく、気象に関する皆さまのあらゆるニーズに応えていきます。

気象庁予報業務許可 第51号

風向風速発信器
・風車型と比較して小型・軽量風向風速発信器
・設置が簡単で低コスト
・いつでも何処でも観測データが閲覧可能

警報装置
・従来品と異なり表示内容を任意に表示可能
・設置が簡単で低コスト
・防災に際する気象情報を瞬時に表示可能

商号 システム株式会社
所在地 〒802-0979
北九州市小倉南区徳力南町2丁目8番11号
TEL:(093)965-1033 FAX:(093)965-1055
URL:http://www.sysmet.co.jp/

Since 1944
次の100年へ

千草ホテル
Chigusa Hotel

北九州市八幡東区西本町1-1-1
TEL093-671-1131
http://www.chigusa.co.jp

■ものづくり補助金支援活動

平成28年度第2次補正予算「革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」の公募が2016年11月14日～2017年1月17日の期間で開始、KTSのメンバーはそれぞれの地場企業とのネットワークをもち、地場企業支援に向けた活動を開始しています。

地場中小企業各社が国際的な経済社会情勢の変化に対応し、足腰の強い経済を構築するため、経営力向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための国からの中小企業・小規模事業者の設備投資等の一部を支援してもらえ事業への応募・申請書作成中であり、その作成に係わる支援活動を行っています。

■技術経営ものづくり支援の活動

平成28年度九州地域ものづくり中小企業事業化支援事業の支援として2名のKTSメンバーが参画し、展示会出展のサポートを開始しました。福岡・熊本・佐賀の有望な中小企業が営業開拓するための国内の展示会に出展する支援を行う事業で2017年3月までの期間に展示企業に出向いて、展示会出展に関わる技術・営業の支援を行っています。

■北九州商工会議所/苅田商工会議所のものづくり支援の活動

北九州商工会議所「機械・金属部会データベース業務委託事業」に2名が参画し、調査に協力している。事業期間は2016年8月～2017年1月の予定です。

苅田商工会議所からは、「地方創生事業」の一環として予算化された「地域のものづくり企業実態調査」を行う事業の実行をKTSが受注しました。事業の内容は地域企業の事業内容や将来展望をアンケート方式でヒアリング調査し、企業データベースを作成するものです。2017年2月までの予定で120社ほどを対象に会員16名で訪問調査を遂行中です。



■エコアクション21地域事務局福岡の活動状況 エコアクション21地域事務局福岡 事務局長 藤原成種

エコアクション21は発足以来12年目となり、次のようにいろいろの行事が行われています。

- ① エコアクション21ガイドラインは、現在2009年版の改定を環境省が進めており、今年早々にパブコメが実施されます。
- ② 第11回全国大会が中央事務局主催により大阪市で行われました。大変ユニークな企画で活況を呈しました。
- ③ 認証取得10年継続事業者に対し、中央事務局から感謝状と記念品とが贈呈されました。当地域事務局扱い事業者では14社が贈呈対象となりました。



- ④ 普及活動の一環として、自治体イニシアティブ・プログラム(北九州市実践講座・福岡県集合コンサルティング)を実施し、20事業者様が参加され、目下環境経営システムづくりに熱心に取り組まれています。

- ⑥ 北九州市長感謝状授与制度は6年目を迎え、今年度は久屋産業(株)及び九州製紙(株)の2社が、「環境にやさしい取り組みを行い成果を挙げている事業者」として、エコテクノ展会場で感謝状及び記念品とが授与されました。



- ⑦ 認証・登録事業者は全国でおおよそ7,700社となり、当地域事務局福岡では250数社をお世話しています。

地球環境保全のために、中小企業の皆様がエコアクション21の活動に参加され、炭酸ガス排出量削減ほかに日夜努力されています。1社でも多くの事業者の参画が望まれ皆様方の普及へのご協力をお願いします。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
 NPO-KTS通信Vol.28広告7-8

株式会社ニシテイ
 新たなステージへ
 さらなるステップアップを実現します

公益財団法人 北九州活性化協議会
 TEL:093-541-3122 FAX:093-541-0636
 http://www.kpec.or.jp/jnzai/

KPECの主な活動

- もったいない総研
 丹にゆとりのある21世紀のライフスタイルを求める研究所「もったいない総研」へようこそ!
- 産業人材育成
 北九州地域の中間・中小企業と地元理系大学生をつなげる地域ぐるみの産業人材育成
- 小学校応援団
 子どもの教育を企業も一緒に積極的に支援します
- 1000人の夢資金
 北九州をもちと盛り上げ、このまちの心豊かな未来を一緒に目指そう!
- 北九州イノベーションギャラリー
 技術とデザインを融合させた数々のイノベーションを展示紹介した北九州の元人達の知の遺産
- まちづくり推進事業
 市民・団体・大学・行政機関等の連携種として北九州の街づくりのための環境づくりを行っています

■中小企業テクノフェアin九州2016_BM活動

(公財)西日本産業貿易コンベンション協会(以降協会)主催の「中小企業テクノフェアin九州」の「ビジネスマッチング(以降BM)支援事業」は今年で8年連続です。協会の営業活動や指導の支援を受けて、テクノフェアにおける出展企業と地場企業を繋ぎ、来場・面談・商談・見積・成約などBM支援は全国でも非常に貴重な支援事業となっています。



支援当初は約30社の出展企業でしたが地元商工会議所等の支援も頂き、今年は56社(団体を含めると61社))となりました。今年は、九州以外(山口含む)の出展(北海道~大阪など)が過去最高の37.5%(当初は0~3%)に増え、全国的展示会と理解され出展企業のレベル・要求度も厳しくなっています。

昨年は大阪インテック展示会(250社展示)からKTSが3社を誘致し、今年は第54回金沢機械展見本市(150社展示)に出向き3社を誘致しました。昨年の1社(愛知)は今年度も出展頂きました。協会の全国への出展営業活動の賜物であり、このBM支援事業が全国的に知れ渡りKTSにもその実感が伝わってきました。更に、地元企業へも出展誘致活動を行い4社の誘致を行いました。

別の展示会では来場客が少なくテクノフェアのBM支援に魅力を感じ、テクノフェアに出展して頂いた。更に、協会の要請により初めて川下企業に来て欲しい出展企業のニーズ調査を行った。個別の企業のニーズは様々であるが、人材不足(自動化)、高度化技術、地元で少なくなった製造・製缶などの要望があった。また、3年目の出展企業の説明会は15社で出展企業・KTS共に非常に好評であった。

KTSコーディネーターは5名の新人含む過去最大の18名だった。川下企業来場者数が減ったのと個人的バラつきが大きく、経験者が新人の経験不足を補い訪問・面談等の実績は昨年並みであったが、協会によるアンケートでは全国的出展企業の要求度も高くBM満足度が低下した。全国的テクノフェアin九州に耐えられるKTSのBM支援実力の向上が必要である。



■KTSの「ものづくり企業」支援実績例 一企業の困りごとの「駆け込み寺」としてご利用ください！

- 1.「ものづくり」公的資金の活用と応募支援
- 2.「テクノフェア」等ビジネス・マッチング支援
- 3.「大学・高専インターンシップ」受入企業開拓
- 4.「環境・省エネ支援事業」の推進
- 5.「ものづくり企業」等の技術・開発・改善提案

【経験豊かな専門家が工場の問題解決のお手伝いを致します】

株式会社 エステック21

工場環境負荷低減(エコロジー)や、トータルコストダウン(エコノミー)を提案します。(例:潤滑、ミスト等)

〒811-4343
福岡県遠賀郡遠賀町田園3-2-27
TEL & FAX: 093-293-6431
URL: <http://www.s-tech21.biz/>
E-mail: info@s-tech21.biz

未来型コミュニティは、WIN-WINの法則から創造される!

A.win Eco環境総合研究所

一般社団法人 A.Win Eco環境総合研究所は、今後の日本における「コンパクトシティ」化に伴う経済社会に対応するための活動を行っています。

- 未来型マーケティング&ビジネスコミュニティの構築
- 未来型ビジネスモデルの構築&起業支援
- 企業及び各種団体のコンサルタント支援&教育支援

お問い合わせは、一般社団法人 A.Win Eco環境総合研究所 事務局まで
〒800-0262 福岡県京町東区京町1-22-23 TEL:093-435-0558 FAX:093-435-0555

※入会金:10,000円、会費:一般会員10,000円/月

北九州地域のモノづくり企業の紹介
■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介致します。

■賛助会員・協力会員の広報コーナー
＜製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中＞
NPO-KTS通信Vol.26広告9-12

Matsushima
Matsushima Measure Tech

計る×技術で世界に向けて

株式会社 マツシマ メジャテック

〒807-0837 北九州府八幡西区則松東一丁目8番18号
TEL 093-691-3731 FAX 093-691-3735
URL <http://www.matsushima-m-tech.com>
E-Mail sales@matsushima-m-tech.com

自動車用ボディ関係の板金プレス金型設計・製作で
世界をリードする金型専門メーカー

高品質の金型を世界へ

Uchida Co., Ltd
株式会社 ウチダ

代表取締役社長 **内田 祥嗣**

九州工場 〒823-0011 福岡県宮若市宮田542-38
TEL (0949)33-3145 FAX (0949)33-3146
本社 〒574-0055 大阪府大東市新田本町12-6
TEL (072)874-3377 FAX (072)874-3839
E-mail: info@uchidanet.co.jp
URL: <http://www.uchidanet.co.jp>

中小企業が期待するKTSの支援活動紹介

■技術経営ものづくり支援Grの活動

Gr.長 石川 浩

今期からスタートした「技術経営ものづくり支援」グループは、これまで具体的に実施してきた「福岡ものづくりアドバイザー制度」をはじめ北九州商工会議所・FAIS等の依頼により中小企業の課題解決を支援して来ましたが、更に中小企業のニーズの多様化に伴い、その掘り起しを進め前向きに展開して行くべく基本戦略を計画推進中です。

昨年3月設立された「福岡県ものづくり中小企業推進会議」メンバーとして参加すると共に、国公募の「ものづくり補助金」申請書作成支援も継続実施中です。

更に、ものづくり企業の基本である「生産性向上」並びに新規事業創出に向けた「IoTの導入・活用」について研鑽中であり、昨年1月から関連機関・企業を交えて勉強会を6回開催し、今年も継続予定です。

■産学官連携人材育成支援Grの活動

Gr.長 影山 隆雄

1)「第4次産業革命」勉強会活動 IoT・クラウド・AIを活用して新サービス事業の創出や生産性を更に高める動きを勉強して中小企業支援に活かして行くことが重要と考えて自己研鑽の場として「第4次産業革命」勉強会を立上げました。

2)途上国向けマーケティング研修の講師業務(公財)北九州国際技術協力協会は、平成27年度から海外マーケティング研修を取り入れることになり、先進国市場開拓の経験があるNPO法人KTS会員が、平成28年2月、中南米7ヶ国の研修生を対象に「先進国市場へ売込むキープポイント」について講義しました。

3)高度産業人材育成支援事業地域の産業人材の育成の一環である地域連携インターンシップ事業では、対象企業の選定や学生と企業のマッチング等、KTS会員の知見とノウハウが遺憾なく発揮されています。また、平成28年11月から地域創成事業の一環として実践型インターンシップの仕組みづくりにも参加しています。

■環境・省エネ支援Gr活動

Gr.長 山本 幸暉

北九州市はエコタウンを中心にアジアで模範的な環境都市として多くの見学者が訪れている。一方周囲の山々には放置竹林が多く、そこで再生可能エネルギーとして竹を伐採してバイオマス燃料や土壌改良に、山の傾斜利用の小型水車、海辺の風利用の小型風車、マンション屋上設置での太陽光発電等の環境課題を調査し、市民・NPO・市・中小企業と協働して取り組む。

省エネ活動グループは主に省エネセンターの依頼を受けて省エネ診断を行った。主な診断案件は産業学術センターの図書館、飯塚地区に半導体関係の研究所、機械加工を専門とする八幡西区の地場企業、福岡県東部の県立高校である。また、KTSの関係者からの紹介でパイプリータ製造メカに省エネ診断の斡旋、公民館のエアコン老朽化に伴う取替費用の見積等対応を実施した。

■販路開拓ビジネス支援活動

Gr.長 藤原利久

「中小企業テクノフェアin九州」((公財)西日本産業貿易コンベンション協会主催)のビジネスマッチング(BM)支援を中心とした新しい支援活動Grです。

8年連続の中小企業テクノフェア2016では新人5名を含む過去最高の18名が参加しました。多くの新人との活動は今後の楽しみです。BM実力向上は共に協力して行う必須事項です。

このBM支援活動から商品・製品は販売支援企業の発掘および商工会議所や行政との新しい支援活動へも繋がっています。

今後はこの活動を他のKTS支援Grの支援も受けた協働活動と仲間を拡大したい。

■ISO・EA21支援Grの活動

Gr.長 松尾 民憲

ISO支援活動は平成28年度計画において支援コンサル実績では、ISO品質・環境マネジメントシステム改訂に1社と新規取得支援1社、「省エネ基準準拠の換気設備性能への自己適合宣言」に1社など計3社の再構築及びシステム技術支援の実績であった。

ISO・EA21支援Grでは、対象企業さまの支援活動として現行システム運用を前提にISO規格要求事項に伴う事業活動に、今回新たにこれらシステムにBCP【事業継続計画】を付加する支援をします。

このことにより品質/環境マネジメントシステムを運用する企業の皆さまが、トップマネジメント主導のもとに、事業上の優先事項と整合させながら、内部・外部のリスクに効果的に取り組むことで、自然災害への対応が可能になることを成果として期待することにあります。

今後は、企業支援に関して関係先等と情報交換を行い連携した支援活動に、営業活動による対象企業さまへの情報不足やISO活動レベルの向上に、新たな展開を模索する必要性があると思われれます。

■PC活用支援Grの活動

Gr.長 松隈 斉

PC活用支援グループとしての活動実績は、例年行われている「中小企業テクノフェアin九州2016」や今年新たに受託した「苅田町地方創生“ものづくり企業調査業務”支援事業」等において、これらの事業に参画している会員10数人の活動の進捗状況や実績集計などを受け持つKTS内部の業務支援に止まった。

しかし、昨年度から実施してきた事業者のホームページ編集に関する勉強会の成果により、PC活用支援グループの数人はKTSの掲載ページの差し替えなど簡単な編集はできるようになったので、今後はISO・EA21支援グループと連携し、EA21認証取得事業者のホームページ編集支援等、この技術を使い、格安で支援する活動を推進したい。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■協力会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR-募集中>
NPO-KTS通信Vol.28広告13-16

微美 創造企業 MEMS SOLUTION

【事業：超精密金型部品の製造】

我々は、「超精密」にこだわり、お客様に喜んで頂ける製品を、常に作り続けることを経営の柱にしています。「どうしたら、急速に変化する市場ニーズに対応できるのか?」思考を繰り返し、知恵を出し、現状の枠にとらわれない広い視野で、夢のある物作りを実現して行きたいと考えております。

これからも「お客様の喜び=我社の喜び」を追い続けていきます。



株式会社ワークス

代表取締役 三重野計滋(みえの けいじ)

〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町大字虫生津1445 Tel:093-291-1778 Fax:093-291-2728
E-mail:info@wks-co.com http://www.wks-co.com



ミーム
(未夢)



道路トンネル検査点検専用車両



計測検査株式会社

北九州市八幡西区陣原1-8-3

TEL:093(642)8231

FAX:093(641)2010

http://www.keisokukensa.co.jp

建造物に美を添える”研磨”という芸術



東洋ステンレス研磨工業株式会社
TOYO STAINLESS POLISH INDUSTRY CO., LTD

中小企業テクノフェアin九州2017開催(予定)

http://www.kyushu-tf.com/

同時開催:エコテクノ2017



- 会期:2017年10月11日(水)~13日(金)
- 会場:西日本総合展示場
- ※出展料:154,000円/標準小間(税込:予定)
間口3m×奥行3m
- ものづくりの中小企業様の発展を
応援する展示会(今春正式募集開始)
- 毎年NPO北九州テクノサポート様よりビジ
ネスマッチング支援に協力いただいています。

主催:公益財団法人 西日本産業貿易コンベンション協会

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野 3-8-1

TEL:093-511-6800 FAX:093-521-8845

株式会社 有菌製作所

平成28年11月24日に重藤理事が本社工場を訪問し、有菌 中央社長にお会いして医療・福祉機器に関するお話を長時間にわたりお聞きした後、工場見学をさせて頂きました。

■会社の沿革と業況

1910年に八幡市春の町に義肢装具製作所として創業し、1965年より海外メーカーの代理店として義肢装具材料の輸入業務を開始しました。事業拡大に伴い2002年に、東田に新社屋を建設し移転しました。創業時は義肢の製作・修理からスタートしましたが、現在は障害者・高齢者を対象に義肢装具・車椅子・歩行器・姿勢保持装置・リハビリ用機器等、医療・福祉機器事業へ広がっています。また2005年にISO13485を取得し、信頼のおける製品作りとより良いサービスの提供に努められています。近年では、製造部門にCAD/CAMシステムを導入し、生産体制の再構築を図り、開発部門では、リバースエンジニアリングやラビッドプロトタイプシステムなど先進の技術も駆使し、少量多品種、個別対応のものづくりにおいて、精密でスピーディーな製作、製品開発に取り組まれています。

■今後の展開

今後も義肢装具のスペシャリストとして、社員一丸となって、迅速で丁寧な製作に取り組んで参ります。また、長年蓄積した義肢装具のノウハウと医療現場での臨床フィールドの広さを生かし、材料から規格化製品、ロボット事業にいたるまで、幅広い研究開発にも取り組んでいきます。国内外の医療・技術動向をいち早く取り入れ、昨今の少子高齢社会の多様なニーズに応えられるよう、努力いたします。

■KTSへの期待

今後いろいろな面で是非ご協力を頂きたいと思っています。



◇会社概要

■本 社：北九州市八幡東区東田1-7-5 TEL:093-661-1010
 ■代表者：代表取締役 有菌 央 ■設立：昭和10年12月
 ■資本金：4,000万円 ■従業員数：179名
 ■事業内容：義肢・装具/福祉機器・リハビリ機器(車いす・座位保持装置・歩行器)介護用品/医療機器/研究・開発
 医療機関と連携して、一人ひとりの身体に合った義肢・装具・福祉機器の製作と、全国の製作事業者に義肢・装具材料や開発製品を提供しています。
 URL <http://www.arizono.co.jp>

株式会社 ニシテイ

平成28年11月30日に堤 理事が同社を訪問し、三藤伸一社長からお話しをお伺いしました。

■会社の沿革と業況

(株)西日本抵抗器製作所の創業は昭和20年(1945)、(株)安川電機製作所(現在の(株)安川電機)の研究所所長をしていた三藤万衛が設立した三藤電機工業所が前身です。創業当初はスイッチ等の電気機器の組立をしていました。昭和28年(1953)金属抵抗器を開発し、抵抗器メーカーとしての歩みを始めます。



三藤伸一社長

昭和40年(1965)には(株)西日本抵抗器製作所に社名変更しました。同年その後の主力製品となったV型シリーズ抵抗器を開発し、翌年から東京・大阪を基点として全国市場に進出。V型シリーズは金属抵抗素子の形状がジグザグなのが特徴で、クレーンの始動用やインバータの保護用として使用されています。

また、平成12年(2000)からはロボット用部品(ハーネス)加工を開始、組電線や遮断機組立など、抵抗器以外の新規事業にも進出し社名を(株)ニシテイに変更しました。

■今後の展開

国内や世界の大容量・高品質のリアクトル、コンデンサ等で構成したインバータ入力側用高調波抑制フィルタやインバータの出力側用正弦波フィルタなど電源品質改善機器にも参入し、抵抗器に留まらない新ビジネスを展開しています。

■KTSへの期待

電源品質改善機器等の技術課題等について、テクニカルカレッジ等を通して大学との技術交流を考えており、支援をお願いします。



【本社工場風景】



高調波抑制フィルタ

◇会社概要

■本 社：北九州市八幡西区紅梅2-1-1 TEL:093-631-4131
 ■代表者：取締役社長 三藤伸一 ■設立：昭和20年(1945)
 ■資本金：4,105万円 ■社員：114名
 ■事業内容：電源品質改善機器(高調波抑制フィルタ、正弦波フィルタ)抵抗器、リアクトル・変圧器、スペースヒーター、ワイヤーハーネス等
 URL: <http://www.nishitei.co.jp>

■会員・賛助会員の募集(当法人は、会員の会費で運営されております)

企業の第一線をリタイアされた方の第二の人生を地域社会発展のために貢献・恩返ししてみませんか…? 皆さん方が持っておられる知識・技術・経験・人脈は、次の社会に伝えなければならないし、それは義務でもあり権利でもあります。これから本格的な社会貢献の時期なのです。当NPO法人を利用して、地域社会の潤滑剤として役立てて下さい。

■会員・賛助会員の会費

- ・正会員入会金:5,000円/年会費:5,000円
- ・賛助会員(法人)入会金:10,000円
 年会費:20,000円/1口
- (個人)入会金:5,000円
 年会費:5,000円/1口

■Plusα:「中小企業における新製品開発資金調達について」

(国や地方自治体が行っている中小企業向け施策「助成金・補助金」例えば、「ものづくり補助金」等を利用してみませんか?)
 …新製品開発は、企業経営にとって重要な課題の一つです。そこで、皆さん方も良くご存知の助成金・補助金などの利用を考えて見ては如何でしょうか。新年度が4月からスタートしますが、この時期を皮切りに公募が始まります。応募するには即準備に取り掛かってください、公募が始まってからの準備では間に合いません。ただ、書類をつくるのが面倒だと思っている中小企業さんの方も多いのではないかと思います…?その時は、当NPO法人にご相談下さい。
 ⇒当NPO法人は、70名のシニア技術者集団です、その中から貴社ニーズに合った専門家が適切にサポート対応します。



＜詳細情報は下記ホームページから＞

<http://www.npo-kts.org/>

賛助会員の申し込み受付中
 ホームページから申込用紙をダウンロードして下さい。
 技術開発・環境経営の発展を支援します。

NPO法人 北九州テクノサポート
 会報「北九州テクノサポート通信Vol.28」

平成29年1月10日 印刷発行

●発行・編集: NPO法人北九州テクノサポート
 北九州市戸畑区中原新町2番1号 北九州テクノセンタービル8F806号室
 TEL/FAX:093-873-1453 E-mail: npo-kts@npo-kts.org